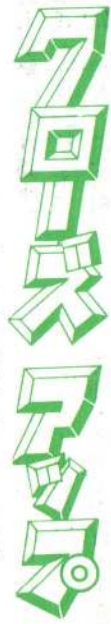


夢中熱中青春ライフ!



26

山野草観察グループ

道端にひっそりと咲く一輪の花に目がとまった時、ふと心がなごむことがあります。今回は自然に親しみ、四季折々の花の美しさを求めて、散策している山野草観察グループを紹介しました。グループの先生役の佐谷キエさんに伺いました。

まちどおしい

週一回の散策

三年前前から、近所に住む植物が好きな仲間と一緒に、山野草の観察を続けています。

グループは十人位で、みんな六十歳を越えています。秋葉山まで登ることもあるんですよ。



仲間たちと共に(佐谷さん、右から三人目)

自然の美しさを感じて、その中を散策して歩くことが健康にもいいんじゃないでしょうか。天候にもよりますが、弁当を持って木曜日に出かけることにしています。

よく行くコースは、長根山公園や市民の森、長走の風穴、芝谷地などですが、その年によって花の咲く時期が少しずつ違います。今年はどこも一週間位遅いようです。同じ草や木でも、その年によって花をたくさんつけたり少なかったりするんですよ。

スケッチも

楽しみです

山野草の魅力は、見る人の心をなごませてくれることではないでしょうか。仲間と花の名前を確かめ合ったりしていますが、その素朴な美しさに目をうばわ



ツリバナ (スケッチから)

れることもたびたびです。木をつたって高い所まで咲いている「ツルアジサイ」の白い花を見上げたり、ひっそりと静かにゆれる「フタリシズカ」などを見たりしていると、自然に心がなごんてくるんですよ。

一週間前につぼみだった花が、今日はそろそろ咲いているところだろうと思うと、うきうきして足どりも軽くなります。

また、草や木のスケッチも楽しみの一つで、孫からプレゼントされた色鉛筆で書いています。五年位前から書きためたスケッチを、公民館や銀行のロビーで展示してもらって、みんなに喜んでもらえました。

私たちの仲間は、草や木の採取はしません。鉢に掘り上げて楽しんでる人もいます。自然に置いた方がいいと思うんです。

青森発 → 大館着

前略

大館市民になりました ②

☆今回は南神明町の豊川良明さんご一家です。

Q・ご家族は何人ですか?

妻の真紀子と二人です。

Q・どちらからおいでになりましたか?

昨年十月の末、転勤で青森市から来ました。

Q・大館の印象はいかがですか?

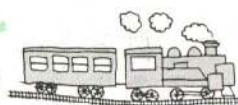
犬が多いことにおどろきました。私はマルチーズが好きで飼っているんですが、朝早くから犬を連れて散歩をしている人が多いのにびっくりしたんです。大館は秋田犬の街と聞いていたんですが、犬の種類も多いと思います。仕事の関係で、東京、盛岡、八戸などにも住んだことがありますが、大館は落ちついた感じがしてとてもいいところだと思います。

Q・食べ物や言葉はどうですか?

キリタンポを食べましたが、おいしいなべ料理だと思いました。郷土料理はやっぱり、その土地で食べるのが一番ですね。青森のお酒もおいしいんですが、秋田のお酒は格別です。言葉のことでは、意味が通じなくて困ったという経験は、ほとんどありません。

Q・大館にどんなことを望みますか?

青森へ向かう時に感じるんですが、道路が渋滞していることがありますね。日中でも混雑していることがありますから、交通網の整備を進めたいと思います。普段の生活ではあまり不便を感じません。



良明さんと奥さんの真紀子さん